

2016.12.16：都市整備建設委員会 本文

○菅原正和委員 私から、i c s c aのポイントチャージ失効の件で、10月のこちらの委員会で質問した件なんですけれども、今、地下鉄東西線に乗りますと、トレインビジョンとかポスターで、1年間で失効しますよということで大分表示が出ている。あと、地下鉄の構内の電光掲示板でも表示をなされているということがございます。これを見て、いろいろな方がそれでチャージをしているかと思うんですけれども、これまでどのような取り組みを行ってきたのかお示してください。

○交通局経営企画課長 ポイントのチャージ方法や失効などにつきましては、従来から実施しておりますバス、地下鉄の車内や市民センターなどへのポスターの掲出、地下鉄駅券売機付近への掲示に加え、11月からは、さきに委員より御提案いただきました東西線車内のトレインビジョンへの表示を開始いたしました。

また、バスで御利用いただいたポイントの失効が来年1月末に始まりますことから、バス車内での告知を強化するため、今月上旬からバス車内放送の回数をふやし、車内前方の運賃表示器への表示も開始したところでございます。

さらに、ポイントを失効されている方はふだん、余りバス、地下鉄を御利用にならない方も多いと考えまして、これらの方々にも周知を図るため、新たに市政ラジオやフリーペーパーなどの媒体を活用した広報も実施しているところでございます。

○菅原正和委員 9月の失効率が29.7%、10月の失効率は28.1%。今回いろいろ速やかな対応をしていただいて、2カ月では下がっているようなんですけれども、11月の失効率と金額というのはどのくらいなのかお示してください。

○交通局経営企画課長 11月の失効率は27%、約300万ポイント分というふうになってございます。

○菅原正和委員 今のお話を聞きましたら、毎月毎月少しずつは下がっていると。そして12月と1月はピークを迎えますけれども、今までの取り組み、今後こうやっていきますよということで、もう少し突っ込んださらなる取り組みというのを考えているのでしょうか。

○交通局経営企画課長 ポイントの失効防止につきましては、徐々に失効率が下がってきておりますが、先ほども申し上げましたとおり、バスで御利用いただいたポイントの失効が来年1月末に始まりますことから、バス乗車時に目にとまるよう、新たにバス乗車口のICカード読取機に掲示を行い、さらなる周知に努めてまいりたいと考えております。

○菅原正和委員 取り組みに終わりはないので、ますますいろいろな面で目に触れるようにしていただければと思います。

次に、敬老乗車証についてお尋ねします。

バスカードからIC乗車券になりましたけれども、利用者は今まではカードを差し込んでカードを抜くという作業がございました。今はタッチしてそのまま乗れるという形になりましたけれども、今回の変更でどのような効果があったかお示してください。

○交通局経営企画課長 敬老乗車証含め、磁気カードからICカードになった効果といたしまして、以前であればパスケースから磁気カードを取り出すことに手間取っておられるお客様も散見されておりましたが、ICカードでは、委員御指摘のとおりパスケースに入れたまま読取部にタッチするだけというシンプルな動作で御利用いただけるようになったことから、地下鉄改札機の通過やバス乗降者の様子を見ておりますと、以前よりスムーズに乗降のほうを行っていただけるようになったものと認識しております。

○菅原正和委員 続きまして、ちょっと提案なんですけれども、地下鉄の定期券についてお尋ねします。

ホームページで定期券の購入欄を見ますと、通勤定期は200円とか250円という区分などの表示がしております。購入者は、どこからどこまでと目的地を言って購入しているかと思えます。

学都フリーパスは学生に限定し、自由に乗りおりできるもので、利用の仕方、要は東西線、南北線、バスといろいろということで購入し、金額が変わってきます。

通常、初乗り運賃の乗車券を購入すると、仙台駅を起点としますと、東西線では西は川内、東は薬師堂、南北線では北は北四番丁、南は河原町と、東西南北200円で乗車できると思います。しかし、200円範囲の定期券では、200円均一料金範囲でもコースを外れた場合は200円の加算運賃が発生します。厳密に言いますと、定期の料金プラス初乗り料金がかかります。

そこで提案なんですけれども、定期にゾーン定期というのを新たに設けることはできないんでしょうか。今まで1本の路線だった地下鉄が、今は南北線、東西線と乗りかえできる環境が整っております。学都フリーパスと同時に、料金が多少割高になっても、通勤定期のほかに、乗りおり自由のゾーンフリーパスを新たに作る検討をし、仕事で市内あちこち動き回る人もいるかと思うんですよ。その人にとって地下鉄乗車の利便性を図ると同時に、地下鉄の乗車人口アップ、そういう策につながるかと思うんですけれども、御所見をお伺いします。

○交通局経営企画課長 御案内いただきました学都仙台フリーパスは、社会に出る前の若い世代の地下鉄、バスの利用促進を目的として、対象者を学生に限定し、また企画段階においては、大学等による学生の交通事故抑止に向けた取り組みとも連携しながら、1年半の実証実験によって採算性を検証し、導入に踏み切ったものでございます。

200円均一区間のフリー定期を、通勤利用者向けに設定した場合、ビジネスマンの通勤時の寄り道などでの御利用は想定されますが、一方で、交通事業者にとっては、少なくとも現状での定期券区間外での御利用に関する乗車料収入の減収が想定されますことから、導入につきましては採算面などから慎重な検討が必要と考えております。